

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月27日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902116		
法人名	株式会社 健康会		
事業所名	グループホーム あげぼのⅢ		
所在地	旭川市忠和6条6丁目2番24号 (電話) 0166-60-2020		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年10月24日	評価確定日	平成20年11月25日

【情報提供票より】 (20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年 3月 25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人 非常勤 2人 常勤換算	10.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円		その他の経費(月額)	水光熱費 16,500円
				暖房費(10～4月)6,000円
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無		有りの場合償却の有無	無
食材料費	朝食	450円	昼食	300円
	夕食	550円	おやつ	50円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月24日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	5名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.3歳	最低	60歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	忠和クリニック くにもと病院 メイプル病院 ほのぼの歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

落ち着いたある住宅街、隣接の保育園、近くにスーパーマーケットなどがあり、ホームを取り巻く環境は恵まれています。利用者も近隣の居住者が多い地域に密着した暮らしが可能となっています。系列の医療機関からのバックアップも厚く、比較的介護度が高い利用者も安心の暮らしが可能となっており、家族の大きな信頼も得ています。家庭的な雰囲気なか、利用者の自力を引き出して、その人らしい暮らしの継続を願う職員の支援が絶え間なく続けられています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年の課題については、地域との付き合いやほかの業者との交流など、一部の課題に進展が見られますが、大半は着手が見られないなど、取り組みへの積極性に欠けるようです。課題となっている項目は何れも重要かつ質の良いサービス提供に不可欠であることを認識して、これからの果敢な取り組みを期待します。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の作成に当たっては、職員全員が参加して作られています。その後の取り組みが多くはなく、自己評価に加えて外部評価への積極的な取り組みを期待します。また、取り組みの進捗状況は、運営推進会議に報告しながら、ホーム運営とサービスの質の向上に役立てるよう期待します。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議を構成するメンバーが利用者、家族、職員が大勢を占めるなど、議事の内容も地域に密着した討議には至っていません。ホーム運営の状況報告に加えて幅広いテーマを持ちながら、それに見合うメンバーを加えるなど、柔軟な対応が望まれます。また、自己及び外部評価の課題取り組みを公表しながら、進捗のモニター役を担ってもらうことも重要と考えます。さらに災害対策で地域住民の方々の具体的な協力についての協議も期待します。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意見や要望などは、専ら来訪時の会話や電話から聞き取るようにしています。些細なことも記録しながら、ミーティングで伝達し、共有してホーム運営及びサービスの質の向上に反映するようにしています。玄関の「意見箱」は設置されていますが、投函がなく、あまり利用されていません。今後は名称など工夫を凝らし、より多くの意見などの集約を期待します。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内で行なわれる春・秋の清掃活動に利用者と職員が参加しながら、近隣住民の方々との交流が行なわれています。隣接の保育園児との交流も盛んで、利用者の楽しみが増えています。近くのスーパーマーケットでは、オーナーや店員の方との会話が利用者にとって地域での暮らしにメリハリをつけています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に、地域の特性が活かされた理念作りが行なわれ、利用者が地域での安心と安全の暮らしが継続できることを目指した理念となっています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内の随所に掲示されています。また、職員は常に理念を共有しながら、良質のサービス提供を心掛けるため、各自のネームプレートの裏面に理念を記載して日々確認をしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	住宅街にあり、地域住民の方々との交流は、町内の春、秋2回の清掃活動への参加など進展しつつあります。隣接の保育園や近くのスーパーマーケットなどとの交流は、職員に限らず利用者にとっても暮らしの一部となっており、今後も幅広い交流が期待されます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義は理解しており、職員全員による日頃の気づきや反省など、全体で作成されていますが、その後の取り組みは十分とはいえません。	○	取り組むべき項目を整理し、計画的に着手するため、「改善計画シート」の利用による具体的かつ実効性の伴う取り組みが期待されます。また、取り組みの進捗状況を運営推進会議に報告しながら、モニター役となってもらえるなどの対応を期待します。

旭川市 グループホーム あけぼのⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の開催は、昨年9月の第1回以来これまでに3回の開催が記録されています。運営法人グループの大幅な職員の異動により、開催回数が少ない傾向にあります。また、会議を構成するメンバーも地域の関係者が少なく、家族と職員が大勢を占めるなど、本来の会議の趣旨から十分とはいえません。	○	地域に密着したホーム運営を具体的に進めるため、会議のテーマに応じた柔軟なメンバーの参加により、地域に開かれた会議の運営が望まれます。また、自己評価や外部評価での取り組みを会議で公表し、意見をいただくなど、サービスの向上に向けた取り組みを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者には、介護保険や生活保護、後見人制度などの相談、また、ホームの状況を報告しながら、ホーム運営とサービスの質の向上努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、利用料の請求とともに、利用者の暮らしの様子や健康状態を、各担当職員が詳細に報告するなど、細やかな配慮が見られます。現在、休刊しているユニットの便り「百日草」も家族との絆を一層深めることとなるので、早期に定期的な発刊を期待します。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関する家族の意見聴取は、専ら来訪時や電話での機会を利用して行なわれています。意見や要望をいただいた場合は、ミーティングで話し合うなど、運営に反映させています。玄関には「意見箱」もありますが、利用は少なく更なる工夫が必要と思われます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本年、系列の医療機関を始めとする職員の大幅な異動がありましたが、利用者への影響を最小限にするため、利用者とのコミュニケーションを図りながら、小さな情報も職員が共有して、影響を防ぐように努めています。		

旭川市 グループホーム あけぼのⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人内での研修は、新人研修や2年以上の職員への系統だった研修が行なわれ、スキルアップを図りながら、サービスの質の向上を目指しています。外部の研修も各自の資格取得につながる方向性を重視しながら、シフトの調整などを行ない便宜を図っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列のグループホームで共通課題の合同勉強会が行なわれています。地域のほかの業者間では「グループホーム研究会」を立ち上げ、交流を含めたネットワーク作りが行なわれるなど、活動を通じたサービスの質の向上が進められています。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に際しては、利用者及び家族の方々に来訪していただき、暮らしの様子などの体験を通して、馴染みの関係作りに配慮がされています。職員は家族の方々から得た情報を共有しながら、利用者が早くホームでの暮らしに馴染めるよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者からの話を引き出すばかりでなく、職員自ら胸襟を開くなど、お互いを尊重し、支え合う関係作りを構築して、温かな暮らしの継続を心掛けています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者は、自らの意思表示が可能であり、一人ひとりの思いや意向を優先しながら、暮らしの支援をしています。利用者の生活歴や家族からの情報も役立てています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	生活のリズムなど、1日の記録が判りやすく記録された「生活シート」がカンファレンスの実施に役立ち、担当する職員の情報や家族の方々からの要望や意見が反映されて、利用者本位の介護計画が作られています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヵ月毎に見直しの作業が行なわれています。また、状況の変化に際しては、医師や看護師のアドバイスを受け、家族と話し合いを持ちながら、現状に合った介護計画の見直しが行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列の医療機関と連携した支援、また家族の状況により外出、買物など、ホームが持つ多機能性を活かした支援が行なわれています。今後はショートステイも計画されており、支援の幅が広がりを見せています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のかかりつけ医との連携を密にしながら、月2回の訪問診療や訪問看護が行なわれているなど、日常の健康管理や治療への支援がされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた対応指針は、入居時に利用者及び家族に説明がされていますが、書類上一部不備があります。また、重度化が進むなかで状況に合わせた医師、家族、介護職員など、協議の繰り返しと指針の共有に関する書類整備が十分ではありません。	○	利用者及び家族に説明された指針は、重要事項説明書に盛り込んで整備されるよう望みます。また、重度化が進行する状況の中では、関係者の協議が行なわれていますが、その内容を整備され職員全員が共有し、対応できる取り組みを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーに関する事項は、ミーティングなどで度々確認を取りながら、遺漏なきよう配慮がされています。面会時の名簿も改善され、写真の掲載についても家族の了解をいただく作業が始まっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の行動を尊重しながら、一人ひとりのペースに合わせた見守りによる支援をしています。日々のその人らしい暮らしを把握するため、センター方式のシート導入も行ないながら、希望に沿えるよう努めています。		

旭川市 グループホーム あけぼのⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の献立は、ユニットごとに職員が考え、食材も毎日のように購入するなどして作られています。利用者は可能な限り料理の下拵えなどに参加しています。職員は利用者とともに食事をし、楽しい会話が弾む雰囲気作りをしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状況などユニットで多少の違いがあるものの、利用者の希望に沿った入浴が行なわれています。朝風呂や就寝前の入浴も時折行なわれるなど、楽しめる入浴の配慮がされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	とても歌が好きで利用者がいて、みんなで楽しんでいます。洗濯物たたみや茶碗拭きなどの家事、また、行きつけの喫茶店でお茶やビールを楽しむなど、一人ひとりの楽しみごとや気晴らしを支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	介護度が高い利用者が多いこともあり、あまり時間のかかる散歩は避けていますが、近くの寿司屋、買物など、できるだけ外に出て季節感を味わってもらおうようにしています。時折、系列ホームのマイクロバスで紅葉見物、花火などを見に行きます。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠はしておらず、職員の見守りの中で裏の畑や散歩など、自由に外出していただいています。ユニットの入口には、センサーにより利用者に限らず来訪者の出入りも把握でき、夜間は防犯上玄関の施錠を行なっています。		

旭川市 グループホーム あけぼのⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームが設置している防火管理者のもと、避難訓練がありますが1回と少ない状況にあります。また、火災、地震における利用者の避難場所の周知や地域住民の方々の具体的な協力体制も十分ではありません。	○	状況に合わせた避難訓練、特に夜間を想定した訓練への取り組みは不可欠と考えます。また、地域住民の方々に対する協力への働きかけや、広域を含む避難場所の周知徹底など、十分な取り組みを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節感ある献立が職員により作られています。利用者によっては、刻み食や制限食など栄養士の指導を受けながら、バランスに配慮がされています。水分摂取量も毎日記録されて、水分の確保が適切に支援されています。		
m					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、ホール、そして居間には、秋を彩る「つるめもどき」が飾られて利用者の心を和ませています。廊下の突き当りには椅子が置かれ、窓からは隣接の保育園が眼下に眺められ園児の声も聞こえてきます。保育園の運動会やお遊戯会には、ホームの窓辺が利用者にとっての貴賓席となります。廊下はソフトクッションと床暖房が施されており、これらの共用空間は、利用者が安心してゆったりと暮らせる憩いの場所となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、利用者一人ひとりの馴染みの寝具や家具が持ち込まれており、仏壇や本棚も置かれています。インターシュノールが衣類などの整頓に役立てて、居室内をすっきりとさせ、穏やかな暮らしの場所となっています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。